みんなの広場

ところざわの文化財 ⑧ 歴史再発見

荒幡の富士

狭山丘陵の一角、いきものふれあいの里センター近くに小高い山があります。市の指定文化財でもある『荒幡の富士』と呼ばれるその山は、今から107年前に村民総出によって実に15年の歳月をかけて築き上げた人工の富士山です。

明治時代初期、荒幡村内の神社は小字ごとに鎮守があり、浅間神社を村社に、三島神社・松尾神社・氷川神社・神明社の４つの神社は無格社に列せられ、氏子はそれぞれに分かれていました。しかし、これでは村内の住民の統一が図れないと憂えた有志者が明治14年（1881）に無格社となった４社を浅間神社に合祀し、さらに明治17年（1884）に村民総出で汗を流す事業として旧社地にあった富士山の移築を図りました。築山作業に従事した延べ人員は、１万人に達したといわれています。そして、ついに明治32年（1899）『荒幡の新富士』として完成に至ったのです。

完成後の富士山は、何度か存続の危機に見舞われます。大正12年(1923)に起きた関東大震災では８合目から上が崩落したと伝えられ、戦後は一時荒れるに任せた状態になったこともありました。しかしそのつど住民総出で復興にあたり、原形の保存に努めてきました。

荒幡富士保存会による清掃活動

現在は地域住民によって荒幡富士保存会が結成され、定期的に大掃除やパトロールなどが実施されています。

築山を成し遂げた当時の人々の心意気は現代にもしっかりと引き継がれ、頂上からの眺めとともに、春は新緑の鮮やかな緑に、晩秋は紅葉による赤や黄色で彩られた美しい山容が保たれているのです。

レッツボランティア

【柳瀬川の最上流をきれいにする会】
～みんなできれいにしていく『ふるさと柳瀬川』～

『柳瀬川の最上流をきれいにする会』は、平成16年度『山口地区地域福祉コミュニティ推進事業』から生まれた『柳瀬川のせせらぎグループ』と『上山口地区自治連合会』が連携して、「柳瀬川の清流をとりもどそう」をスローガンに活動しています。

有志の地域住民の皆さんが積極的に参加し、柳瀬川の最上流の水質や水辺の環境をよくして、水生動物、周辺の生物や植物環境を豊かにしていくことを目的として主に川の実態調査や、清掃活動に取り組んでいます。

今年３月と９月に開催した柳瀬川上流の清掃イベントでは約100人が参加して、長年にわたって蓄積された川底の土、ごみ、不法投棄された粗大ごみを除去するなど、おおがかりな活動を行いました。

柳瀬川上流は、かわせみ・鴨・亀・ザリガニ等が生息し、せせらぎを感じられる所もあります。本年度から毎月第２土曜日を定例の清掃日と定めて、きめ細やかな活動に取り組んでいます。

「柳瀬川を昔のように人の集まる場所に、そして清流を蘇らせミヤコタナゴ・蛍を呼び戻したい」という『思い』が活動に結びつき、人の輪も広がる…。身近な地域の環境について、皆さんも考えてみませんか？

柳瀬川清掃活動のようす

今回ご紹介したグループについて、またその他ボランティア活動に関心のある方は、社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

問い合わせ　所沢市社会福祉協議会
（☎2925-0041・FAX2925-0040）

街の写真館

▶プロバスケットボールｂｊリーグが開幕。埼玉ブロンコスの迫力ある試合に会場は熱気の渦に。（撮影／市民カメラマン・村田ひろこ）11月４日(土)／市民体育館

◀菊愛好団体連合会の皆さんが愛情を込めて育てた大輪の菊花が、多くの市民の皆さんの目を楽しませてくれた「所沢市連合菊花展」。10月30日(月)～11月１日(水)／市役所１階・市民ホール

▲ふるさと広場では、秋の澄んだ空に太鼓の音が響きわたりました。今年で第27回目を迎えた「所沢市民フェスティバル」。
（撮影／市民カメラマン・津田資雄）
10月28日(土)・29日(日)／所沢航空記念公園

はつらつ野老（ところ）っ子

『ジャズ』でまちを元気にしたい

藤本　忍さん（元町在住）

藤本さんの奏でるトランペットの音色は、哀愁を漂わせながら聴く人の心を癒し、勇気と希望を与えてくれます。

ジャズ界の巨匠マイルス・デイビスに憧れ、一流のジャズミュージシャンになりたいとの思いから、20歳のときに愛媛県今治市から上京しました。クラブ・キャバレーなどでの下積みも経て、ジャズ界の草分け的存在であった稲垣次郎氏にその才能を見い出され、上京から３年でデビューを飾ります。

1982年に発売したレコードアルバム『ミスティー』では、『いそしぎ』などの曲が好評を博し芸術祭優秀賞を受賞しました。

ビッグフェロー・ジャズ オーケストラ

現在は、『有馬徹とノーチェ・クバーナ』などのバンドの総指揮者として全国各地でコンサート活動などを展開しています。

「ジャズは、からだ全体でリズムを感じることが出来て、とても楽しい音楽です」とその魅力を熱く語ってくれました。

藤本さんは、５年程前から社会人バンド『ビッグフェロー・ジャズ オーケストラ』を結成し、その指導にもあたっています。市内の生涯学習センターで毎週練習を行い、定期的に無料コンサートを行ったり、老人ホームにボランティアで演奏に行ったりと幅広い活動を行っています。「商店街などで路上ライブができれば、まちの活性化にもつながるのでは…」と、その可能性は無限大です。

市民文化センター・ミューズを会場に海外からも有名なミュージシャンを招き、藤本さんの総指揮による『THE Jazz Super session』の開催も、この秋で10回目を迎えました。この催しは、１人でも多くの人にジャズの魅力を知ってもらいたいと続けて来たことです。

「将来は、航空記念公園を会場にプロ・アマのバンドが一同に集まってジャズを演奏できる“ジャズフェスティバル”を実現してみたい」という大きな夢も持っています。

藤本さんの奏でるトランペットは、人とまちを元気にしてくれる特効薬となってくれることでしょう。

一口メモ 防犯

～年末・年始は一層の防犯対策を～

年末・年始は、旅行や帰省で自宅を長期間留守にしたり、多額の現金を持ち歩いたりする機会が増えるため、ひったくりや空き巣、車上あらしなどの犯罪が多発する傾向にあります。

また、振り込め詐欺の被害も後を絶ちません。「自分は、わが家は、大丈夫」と思わず、一人ひとりが“防犯”の意識をしっかりと持つことが大切です。

★★被害を防ぐためには★★

- ◆ゴミ出しなど短時間の外出でも必ずカギをかけましょう
- ◆自転車の前カゴには防犯ネットを付けましょう
- ◆車から離れるときは必ずドアロックをしましょう
- ◆車内にバッグなどを放置しないようにしましょう
- ◆現金の振り込みを求める不審な電話には注意をしましょう

問い合わせ　防犯対策室（☎2998-9090・FAX2996-0015）

誰でもエッセイ

テーマ　応援する心

所沢シティマラソン

山口・秋和　久

毎年この時期になると駅伝やマラソンの話題が多くなります。

特に身近で応援したくなる行事に所沢シティマラソンがあります。老若男女がそれぞれ違った環境のなかで体を鍛え、その成果を試すよい機会ではないでしょうか。

スタート直後のランナーたちは、「頑張れよー」の声援に笑顔で手を振り、皆元気よく走り出します。

途中、苦しい中で頑張り通し、ゴール直前ではもう笑顔はなく、足取りも重く、荒い吐息に汗びっしょりのユニホーム。「もう最後だ。頑張れ」の声にも苦渋の顔、顔…。長い距離に耐えた体力、流れ出た汗。その姿に感動を覚える。

今年の所沢シティマラソン(12月３日)も天候に恵まれ、参加されるランナーの皆さんも最高のコンデションのもとで盛況に終わることを願いながら、心から応援をしたい。

頑張る姿を応援します

久米・大神　けい子

今年のプロ野球は、日ハムが日本一になりましたね。私は、野球のことはわかりませんが、日本シリーズだけは周りが騒いでいるので観ます。

若い選手が一生懸命頑張っている姿を観ていると、私もエネルギーをもらったようで元気になります。１点、２点と点が入るごとに試合も白熱していきます。

日ハムが44年ぶりに日本一になったことから、北海道も活気が出てきました。これからも頑張って欲しいと思います。

ささやかな応援

和ヶ原・田中　隆清

私は、日赤の献血を通して、ささやかな応援をしてきました。しかし70歳の誕生日を迎え、年齢制限でその運動は終わってしまいました。

最初のころは、時間ができると献血をする程度だったのですが、あるとき何十回も続けている人を見て、俄然競争心が湧き自分も挑戦して記録を伸ばしたくなりました。

勤務の合間を利用したり、休日を利用したりしてせっせと通いました。気がつくのが遅すぎ、今は献血回数に悔いが残りました。

献血のできる健康なからだを維持しながら回数にチャレンジするのは、結構楽しい目標だと思います。

万人のためにささやかな応援をしてみてはいかがでしょうか。目標を持って応援が出来るということは、とても素敵なことだと自分では、思っています。

判官びいき

和ヶ原・山ノ井　義治

少年時代のある冬の雨の夕暮れ、大量の材木を積んだ馬車が、ぬかるみの坂道で難渋していた。

馬は必死に地面を引っかく、車輪が空回りして少しも前進しなかった。その馬の背に、幾度も情け容赦なく鞭が打たれた。馬はあえぎ悲鳴をあげた。

涙をこぼしているかのような馬の悲しい目を見つめていると思わず「負けるな頑張れ」と心の中で叫び、応援していた。そのとき以来、弱くても不器用でも一生懸命な人や動物に心を惹かれるようになった。

子育てをしている野鳥や犬猫、つかまり立ちして歩き出そうとしている幼子など。たいした力もないのにおこがましいが、心の底から応援してあげたい。

次回のテーマは『冬休み』です

▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内で▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「冬休み」▶締め切りは12月７日(木)必着▶住所・氏名・年齢・電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-１-１所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係◎Eメール（アドレスkouhougenkou@city.tokorozawa.saitama.jp）も可。